



CREATE HOPE  
in the WORLD

# 志木ロータリークラブ

2023-24年度 国際ロータリー 会長 ゴードン R. マッキナリー 「世界に希望を生み出そう」  
2023-24年度 第2570地区 ガバナー 高丹 秀篤 「希望を語ろう -We are Rotary, together-」  
2023-24年度 志木ロータリークラブ 会長 市之瀬 正靖 「調和」

第2386回 移動例会

2024-1-17

- ◎司会 金剛 光裕 副会長
- ◎点鐘 市之瀬正靖 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 神山 昌之 副SAA
- ◎四つのテスト 神山 昌之 副SAA
- ◎ゲスト 村上 清士様(卓話者)  
中村 和子様(志木おやこ劇場代表)  
高森 美枝子様(志木おやこ劇場)



ソングリーダー・四つのテスト 神山昌之 副SAA

## 「会長挨拶」

会長 市之瀬正靖

新年のご挨拶の前に、先ずは1月1日に発生しました能登半島地震で被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りし、今尚行方の分からない方の安否が一日でも早く確認できることをお祈り申し上げます。

また、海上保安庁と日本航空機の事故で殉職されました、海上保安庁の職員方々のご冥福もお祈りしたいと思います。

能登半島地震は、自然災害でありいつ起きるか分かりません。航空機事故については、いろいろな意見はあると思いますが、私は、地震発生によって起きた2次災害だと思っています。そこには報道で言われているように、ヒューマンエラーが重なったものだと思います。しかし、日本航空の乗員乗客に死者が出なかったことが不幸中の幸いであり、乗務員の日ごろの訓練と乗客の冷静な対応のたまものだと感じております。私たちも、緊急時に冷静な対応ができるように日頃から心がけましょう。

改めまして、新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。

ここで今年の抱負をお話するのがセオリーなのかもしれませんが、2月18日に清水ガバナー補佐主催、第2グループのインターシティーミーティングが控えておりますので、星野副実行委員長に登壇頂き、IMについてホストクラブの会員みなさまにお話を頂くことで、会長挨拶と致します。

本年も宜しくお願い致します。  
星野副実行委員長、宜しくお願い致します。

## 「会長報告」

### 2023-24 年度 国際ロータリー第 2570 地区 第 2 グループ IM について

志木 RC IM 実行副委員長 星野博之



今年度は志木 RC がホストクラブとなり第 2 グループの IM が下記の日程で開催されます。皆様のご協力をお願いいたします。

記

1. テーマ 「希望あふれる未来のために」
2. 開催日 2024 年 2 月 18 日(日)
3. 場所 ベルセゾン
4. プログラム 13:30 受付  
14:00 第 1 部 式典  
14:45 第 2 部 講演  
講師 橋本五郎様  
「子どもたちに豊かな未来を」  
16:45 第 3 部 懇親会  
18:00 閉会

## 「理事会報告」(1/17 分) 会長 市之瀬正靖

1. 親睦旅行及び年忘れ例会の報告について  
市之瀬会長より、親睦旅行の収支報告書および年忘れ例会の決算書を説明し、理事会に報告を行った。
2. IM の件  
上野幹事より、IM のプログラムおよび会場配置図等により説明を行い、志木クラブ主催ということでクラブ会員全員が協力して準備をしていくことを依頼した。
3. 尾崎さんの件  
名誉会員からロータリーの友購読の希望があった場合は、半期 3,000 円通信費込みで

購読できることとした。

## 4. 内田さんの件

12 月 31 日付けで退会された内田会員を 12 月 14・15 の持ち回り理事会で名誉会員とした。

## 5. 5 月 15 日の例会振替の件

5 月 11 日の川まちを、5 月 15 日の例会振替とした。

## 6. その他

①能登半島地震に、義援金を拠出することとした。金 100,000 円。また、ロータリー米山記念奨学会より会員一人当たり 3,000 円の寄附金をすることが承認された。

②米山記念奨学金 2023-2024 下期分を、1 人 3,000 円×会員数を拠出する。

③三上隆俊会長エレクトから、次年度の地区役員予定者の一覧が配布され、地区役員人事については、個人的な依頼ではなくクラブとして地区役員を指名している旨の説明がなされた。

④志木 RC 選出の次年度地区役員を、承認した。

## 「幹事報告」

幹事 上野剛彦



## 1. RI 日本事務局より 2 件受信

- ①1 月のレート \$1=¥141
- ②職業奉仕月間リソース案内

## 2. 地区事務所より 3 件受信

- ①第 16 回ライラデー開催案内
- ②公共イメージ委員会セミナー案内
- ③魅れ 2570 プロジェクト

「大相撲初場所 13 日目観戦」

## 3. 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より志木市川と街をきれいにする運動

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

推進協議会への活動助成金についてと「川・街エクスプレス」送付について受信

4. 志木市青少年育成市民会議より青少年非行防止講演会開催について受信
5. ハイライトよねやま Vol.285 2023年12月13日発行・Vol.286 2024年1月15日発行受信
6. バギオだより 2024年1月号 Vol.100

「ゲスト挨拶」 志木おやこ劇場代表 中村和子様



こどもライブフェスタ2023in 志木市  
「筋肉戦隊マッスルレンジャー」協賛のお礼と報告

「今月の誕生日祝」 親睦活動 高橋 良委員



- 7日 西浦建貴会員 7日 宮田泰彦会員  
27日 古田征也会員 29日 大村相基会員  
19日 瀧澤悦子さん(事務局)

「誕生日スピーチ」 西浦建貴会員

誕生日祝いありがとうございます。1月7日生まれという、まだ年が明けてバタバタとしているうちに歳を取ることが多いですが、そんな中で52歳になりました。



ロータリーの仲間に入れてもらい、大先輩方に囲まれてかっこいい歳の取り方を日々学ばせていただいているような気がしています。今後共ご指導を頂きながら、かっこいい歳の取り方をしていきたいと思っています。

「委員会報告」

●地区ロータリー希望の風奨学会

委員 西川和人



ロータリー希望の風奨学金

「風の便り」Vol.9 No.6 (通刊111号)

「私たちロータリアンは、東日本大震災のことをけして忘れません」

新年早々の1月1日「能登半島地震」が発生しました。今もって救援活動もままならない状況が続いており1月13日の新聞報道では死者215人、不明者28人と伝えております。13日と14日の二日間は大学入学共通テストが行われます。

東日本大震災の被災遺児に対し奨学金を給付している私たちにとって、今回の災害による被災遺児に対する思いに重ねてしまいます。

第2570地区 第2グループ各RC 例会日・会場・事務局一覧 (順不同)

■朝霞RC 毎週(火) 12:30~13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店  
■新座こぶしRC 第1第3(水) 12:30~13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770  
事務局 090-1551-8380

2386-3◇  
志木RC会報



## 『ロータリーの友』記事紹介

雑誌委員会 委員長 荻野光一



『ロータリーの友』1月号記事紹介

### 【横組】

**P5** RI 会長メッセージ

**P8**～ 「職業奉仕の手引き」から見えてくること

ロータリーの目的第2と四つのテスト

**P10**～ 職業奉仕のさまざまな事例

CASE2 に本庄 RC の職業奉仕活動が掲載されている

**P14**～ シンガポール国際大会の案内

本年5月26日から

### 【縦組】

**P4**～ 私にとっての四つのテスト

第2530地区職業奉仕セミナー講演要旨  
山本善政氏

**P13** 日本酒で乾杯！ 久保田英男氏

**P21** 卓話の泉 自転車活用法 内海潤氏

## 「卓話者紹介」

末富啓道会員



村上さんは、一橋大学卒業後旧東京銀行今の三菱UFJ銀行に入られ、その関係で退職後JICAでタイに勤められました。今日はタイのお話をよろしくお願い致します。

## 「卓話」

### 「日本—タイ 中小企業連携促進」

村上清士様



2015年から3年間JICA（国際協力機構）のシニアボランティアとして、タイ王国工業省ジャパンデスクに派遣されましたので、その際の経験を若干話したいと思います。

タイに進出している日系企業は、アジアでは中国に次いで第2位の5856社でして、東南アジアで見ればベトナム、インドネシア、マレーシアの倍以上の日系企業が進出しています。またバンコクには5万人以上の在留邦人がいるといわれ、タイは日本と非常に関係が深い国です。

私の仕事ですが、日本側への窓口として、

1. 日本の公的機関、特に日本の地方自治体とタイ工業省が協力・連携のための覚書を締結のサポート、2. タイの中小企業の日本へのミッション、また3. 日本からのタイへのミッションのサポート、4. 日タイ中小企業のビジネスマッチング等を行っていました。

なぜタイ工業省が日本に対し熱心なのかと言いますと、大きな転換点として2011年3月に東日本大震災、11月にタイの大洪水が起こった事があります。日本の震災の影響でタイの自動車生産ラインが止まる、またタイの洪

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

◇2386-4  
志木RC会報

■新座RC 毎週(木) 12:30～13:30 ベルセゾン  
■富士見RC 毎週(金) 12:30～13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041  
事務局 049-251-6596

水で、日本での自動車生産ラインが止まる、というサプライチェーンが寸断される、という事態が双方の国で起こりました。連携の強化が、双方の経済安全保障にとっても重要であることが認識されました。

タイ工業省は、日タイの中小企業連携について、日本の地方自治体との連携強化を目指しております。なぜ地方自治体なのか、ですが、日本の地方には、優れた技術を持ちながら、日本国内では販路が見いだせず、また単独ではなかなか海外に進出できない中小企業が多く存在しています。また日本では、地方の活力がなくなってきて、どこの地方自治体も地方創成ということで、自治体が主導して、地元の中小企業育成を図っております。そういった背景から、日本の自治体とタイ工業省が連携して、中小企業の連携強化を図りたい、というのが狙いです。まずは日本の自治体とタイの工業省の間で、協力のための覚書を結び、自治体主導で、地元の企業を発掘していく、という戦略です。

2017年までに、16の自治体、4つの公的機関とMOU(覚書)を締結しています。その後も毎年3件程度のペースで各地の自治体とMOUを結んでおります。

尚、埼玉県は最も早く、2013年に覚書を結んでおります。埼玉県からタイに進出している企業も96社と関係が深い県です。

自治体と連携強化したことから、月2回程度は各自治体からミッション団が来訪したり、またタイ企業との商談会の設置、タイ企業への訪問、展示会等で多忙な3年でした。

これからの日タイ関係ですが、圧倒的に日本企業が強かった時代から、タイ企業も成長しつつあり、対等な関係になってきたと思います。一方、タイの人件費も急上昇しており、従来のような労働集約的な産業形態は見直しをせまられています。

また日本と同じく、タイはアジアで最も早く少子高齢化に進むといわれており、労働者

不足となってきております。いわゆる中進国の罫におちいりつつあるのが実態で、それゆえタイ政府は日本の中小企業から、技術を移転し、付加価値の高い産業へ転換したい、という思いが強くあります。

最後に、タイの方は基本的に日本が好きです。日本企業はタイにとって最大の投資家で、日本製品はタイにあふれていますし、バンコクを歩けば日本人だらけですが、日本人に対する排斥運動はあまりありません。私自身も2011年の大洪水の際、タイ人従業員に復旧を助けられました。日タイの友好関係が今後とも続くことを願って終わらせていただきます。





<b>●出席報告</b> 出席向上 委員 武藤典夫		
会員数49名	出席義務者47名	免除者2名
本日出席 46名	本日欠席 3名	本日出席率 93. 88%
前々回 MU (12名中0名)	前々回修正出席率 77. 55%	平均出席率 85. 99%